

所管課	市長公室広報広聴課							
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)		施 策				
	第5章 自律協働都市	01 協働	01 市民参加を推進する					
事業：広報事業							整理番号 0377	
目的	広報紙、ホームページ、市政パンフレットなどの情報媒体を通じて、市政情報を迅速・正確に市民に伝え、市と市民の間により良い相互理解と協力関係を築き、市政の円滑な運営を行う。なお、ホームページによる情報発信やPRビデオの作成、報道機関との連絡調整によるパブリシティ活動については、市外居住者も情報の受け手として情報提供を行い、本市の魅力をPRする。							
目標	広報紙、ホームページ、市政パンフレットなどについては、デザインやレイアウトを工夫することによって、よりわかりやすく、目を通してもらいやすいものを作成する。また、ホームページについては、市外居住者の目に触れる機会も多いので、PRビデオ等を活用するなど本市の魅力を積極的に発信することによって、観光客や転入者の増加をねらう。							
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	27,039	コスト情報・評価	総コスト(千円)	54,018	総合評価 <b>B</b> 評価理由 さらにわかりやすく魅力的な情報発信を心がける。	妥当性	A
	一般財源	25,395		事業費	27,039		効率性	A
	国府支出金	0		人件費	26,979		有効性	B
	地方債	0		公債費	0			
	その他特定財源	1,644		一人あたり(円)	479			
				世帯あたり(円)	1,146			
貢献度	施策に対する事業貢献度	A	根拠	市の情報発信の中心として、事業を実施。				
今後の方向性	市民の声を聴くよう努めるとともに、広報紙、ホームページ、市政パンフレットなどの情報媒体にできるだけ反映し、市と市民の間により良い相互理解と協力関係を築く。また、市の魅力をより効果的に発信するため、ホームページによる情報発信やPRビデオの作成、報道機関との連絡調整によるパブリシティ活動を積極的にを行い、転入促進の観点から市外居住者も情報の受け手として実施する。							

事業優先順位	1	細事業：広報紙発行事業					整理番号	01
目的	市政情報の提供や市民の市政に対する理解を深めるため広報紙を発行する。また、視覚障がい者に配慮した広報活動を行う。							
目標	行政用語などをなるべく使わず平易で簡潔な文章表現にするほか、デザインやレイアウトなども工夫することによって、よりわかりやすく読んでもらいやすいものを作成するとともに、市民のみなさんが必要とする情報の充実を図るなど魅力のある紙面をめざす。							
事業実施主体	一部委託	事業開始年度	昭和47年度以前	根拠法令				
事業費・財源	財源内訳	事業費(決算額)(千円)	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)	平成24年度	比較
		一般財源	23,195			事業費	43,033	
		国府支出金	21,865			人件費	23,195	
		地方債	0			公債費	19,838	
		広告料収入	0			一人あたり(円)	0	
			1,330			世帯あたり(円)	381	
			0			職員数(人)	913	
			0			再任用職員数(人)	2.50	
			0				0.00	
今後の方向性	市政の情報を迅速・正確に伝え、市民と市政との間により良い相互理解と信頼関係を築く架け橋として、月1回発行する。また、視覚に障がいのある市民を対象にした広報活動として声の広報を併せて発行する。							
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	広報紙配布部数 48,200部×12ヶ月=578,400部(平成24年度) 声の広報配布人数 32名(平成24年度末現在)			
	A	A	B					

## 事業：広報事業

### 1. 広報事業

広報紙、ホームページ、市政パンフレットなどの情報媒体を通じて、市政情報を迅速・正確に市民に伝え、市と市民の間により良い相互理解と協力関係を築き、市政の円滑な運営を行う。なお、ホームページによる情報発信やPRビデオの作成、報道機関との連絡調整によるパブリシティ活動については、市外居住者も情報の受け手として情報提供を行い、本市の魅力をPRする。

## 細事業：広報紙発行事業

### 1. 広報かわちながの

市政の情報を迅速、正確に伝え、市民と市政との間により良い相互理解と信頼関係を築くかけ橋として、月1回発行。生涯学習情報誌を合冊するなどし、ページ数は36ページを基本とした。職員がパソコンを使用して紙面を編集。見やすいレイアウト作りを心がけるとともに印刷経費の節減や編集行程での校正の正確・迅速化を図った。

編集では、特集面を中心に関係する市民に登場してもらうほか、写真や図表などを使用し読みやすいページ作りをめざした。また、催しや募集記事などをコンパクトにまとめるなど、親しみやすく読みやすい紙面づくりに努めた。その結果、9月号が近畿市町村広報紙コンクールで優良賞の評価を得た。

なお、広報掲載記事のうち、イベントなどの情報について、市役所内とフォレスト三日市内でのディスプレイ放送を活用し、来庁者や市民に対し情報提供を行った。

広報DTPシステム賃借料 565,236円

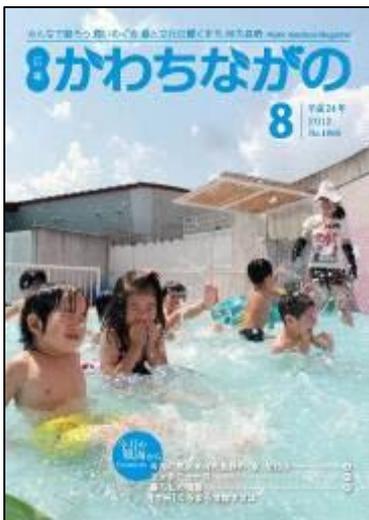
印刷製本費 13,582,760円 配送委託料 5,778,961円

また、自主財源の確保や地元商工業者の育成・振興、市民への生活情報の提供などを目的として、平成17年12月発行の広報紙から有料広告を掲載している。

広告件数 43件（平成24年4月号～平成25年3月号）

広告収入額 1,329,825円（平成24年4月号～平成25年3月号）

### 平成24年度発行広報紙



市民の活動や季節の風景などを表紙で紹介



「がん検診を受けましょう」などの重要記事について、特集で複数ページを使用して紹介



市の歴史や文化、自然に触れながら、まち歩きができるコースを「歩っとスポット」としてシリーズで紹介

### 2. 声の広報かわちながの

市内で音訳活動を行うボランティア団体の河内長野音訳サークル「あい」に委託して、視覚に障がいのある市民を対象に声の広報を発行した。広報かわちながのに掲載した内容をカセットテープに録音したもので、毎月1回発行。希望者32人に郵送した。

委託料 585,000円